

紀の川合同水防講習会

－水防災意識社会再構築ビジョン－

H30.1.31

和歌山河川国道事務所

昨年、紀の川水系丸栖地区等で台風21号の被害がありました。さらなる水防団の技術力向上のため、また、水防災意識社会再構築ビジョンの取組として、水防専門家である松永講師のご指導のもと、水防講習会を実施しました。水防工法の作成の一連の流れを経験することができたので、今後の出水対応に生かしたいと思います。

概要

- 日 時 | 平成30年1月31日(水)14:00～16:00
- 場 所 | 紀の川市 桃山グラウンド
- 主 催 | 和歌山河川国道事務所
- 参加者 | 約115名
- 参加機関 | 和歌山河川国道事務所
和歌山県、和歌山市消防局、岩出市消防団、
紀の川市消防局、かつらぎ町消防団、
橋本消防本部、五條市消防団、各市町職員



各機関の受講者

実施状況

積み土のう工



間詰めの重要性を再認識



松永講師からの注意事項

- ・剣先スコップは必ず土に差して立てるか裏に返して置く
- ・土のうに入れる土の量は6分目
- ・流下方向を意識した土のうの向き
- ・間詰めの重要性

釜段工



《松永講師からの講評》

- ・一俵の土のうが人の命を救える。また、市民の命を守ってあげているのではなく、守らせてもらっているという気持ちを持ってほしい。

《参加機関からの感想》

- ・一俵の土のうが人の命を救えると聞き、感銘を受けました。
- ・土のう作成では土量や結び方がばらばらだったが統一し、次の世代に伝承していきたいと思います。
- ・本格的な講習だったので、実践でも生かしていきたいと思います。
- ・台風第21号ではパイピングが起きましたが、習得した釜段工を生かして対応していきたいと思います。
- ・本市でも、このような水防講習会に取り組んでいきたいと思います。

《今後の取組》

事務所からは係員を中心に参画し、土のう作りを習得し、一袋作るのに要する時間を知ることができたので今後の出水対応での指示に役立てていく。

引き続き沿川市町の水防団の技術力向上のためにバックアップを図りたい。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 河川管理課
〒640-8227 和歌山県和歌山市西汀丁16番 TEL 073-402-0267

